

ぱーとなー

2009年1月
第85号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- **安全・安心・信頼の医療**
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます
- **無差別平等の医療**
私たちは人権を尊重した医療をすすめます
- **患者負担の少ない医療**
私たちは室料差額はいただきません
- **地域とともに歩む専門職の育成**
人権感覚をもつ専門職を養成します

◎ 耳原総合病院の基本方針は「すべての方に24時間365日、質の高い医療を、地域と共に提供し続ける」ことです



新年明けまして
おめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情にあずかり、心よりお礼申し上げます。本年も地域医療にお役立てできるよう一生懸命がんばってまいりますので、何卒ご高配のほどよろしくお願い致します。

院長松本久医師より、新年のご挨拶をさせていただきます。

地域に灯りをともせる



病院でありたい

◆ 医療崩壊、不況、解雇・・・

院長 松本 久
新年あけましておめでとうございます。
去年は、医療崩壊、不況、解雇・・・と暗い話ばかりだったように思います。サブプライムローンに端を発した世界的な不況の嵐ですが、これは20数年続いてきた「新自由主義」の破綻です。医療崩壊、医師不足も1984年に出された、「医療費亡国論」に始まります。その負の流れに、新自由主義を日本で強力に進めた「聖域なき行政改革」の推進者、小泉内閣がとどめを刺したと言って良いでしょう。

職を失った労働者、仕事につけない若者、後期高齢者医療で医療・福祉を受けにくくなったお年寄り、運営していけない障害者施設、弱い立場にある人が住みにくい日本になってしまいました。

◆ 厳しい医療現場のもとで

医療現場もこの8年で診療報酬が7%も削減され、4分の3の自治体病院が赤字です。自治体病院の廃院や縮小も、珍しくなくなってきました。勿論、私たちの病院の経営も非常に厳しくなってきました。しかし、そのような状況のもとでも、地域の医療要求に出来るだけ答えていくことが、私たちの使命だと考えています。

この1月から、小児科独立病棟を開始しました。心臓血管外科も順調に再開され、産婦人科医師も一人増えました。また、救急医療も発展しています。この春には、新卒の研修医が9名、研修を開始します。

◆ 暗い世の中だからこそ、地域に灯りを・・・

医療・福祉をめぐる環境も極めて厳しい状況ですが、医療を受ける患者さま側も、それ以上に厳しい状況が広がっています。

そのような時期だからこそ、よけいに医療・福祉の充実を図る政治のあり方が望まれます。同時に、医療現場で働く私たちは、患者さまに寄り添う気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

そして、暗い世の中であるからこそ、地域に灯りをともせる病院でありたいと強く願っています。



本年も、地域の病院・開業医の先生方と協力して、より充実した医療に励みたいと思います。よろしくお願い致します。



耳原総合病院地域医療室

電話 072-241-0324

Fax ①072-241-0208

Fax ②072-241-0670

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆
☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆
☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆